

令和元年度 十勝農試 定期作況報告

<http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/tokachi/sakukyo/index.html>

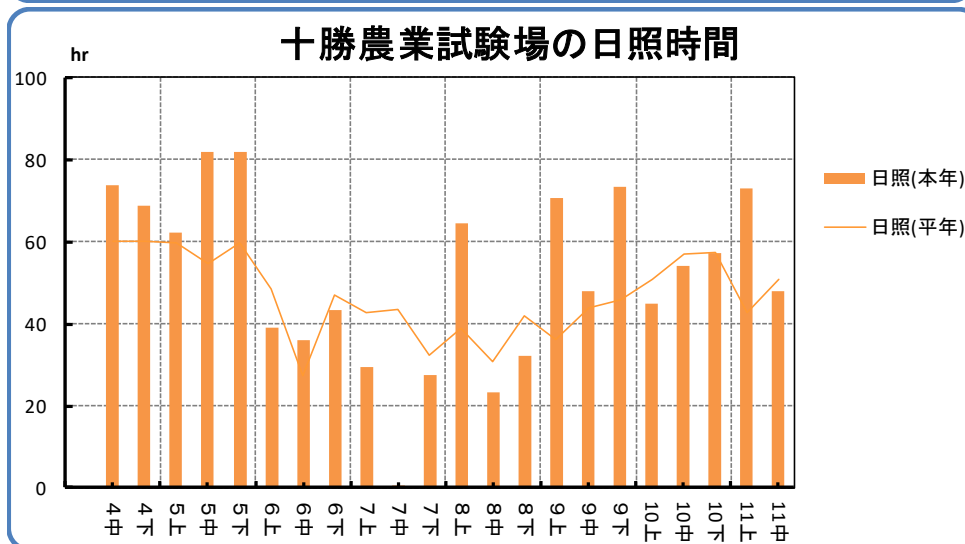
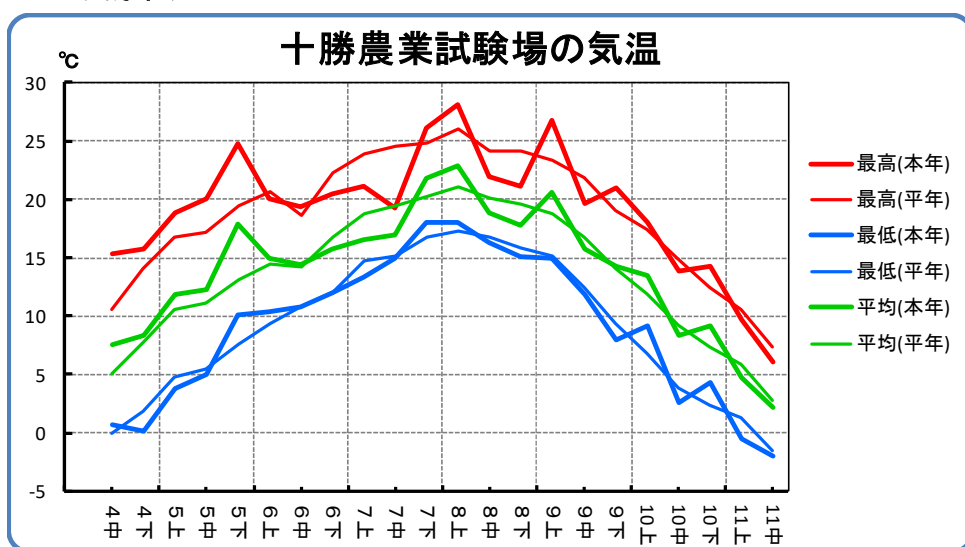
作況概要

	秋まき小麦	大豆	小豆	菜豆	ばれいしょ	てんさい
5月20日	良	—	—	—	—	やや良
6月20日	良	やや不良	平年並	平年並	やや良	平年並
7月20日	やや良	不良	やや不良	平年並	やや良	やや良
8月20日	やや良	平年並	やや不良	やや良	やや良	やや良
9月20日	—	平年並	やや不良	良	やや良	平年並
10月20日	やや不良※	やや不良	やや良	—	—	やや不良
11月20日	やや良	やや不良	やや良	やや良	やや良	やや不良

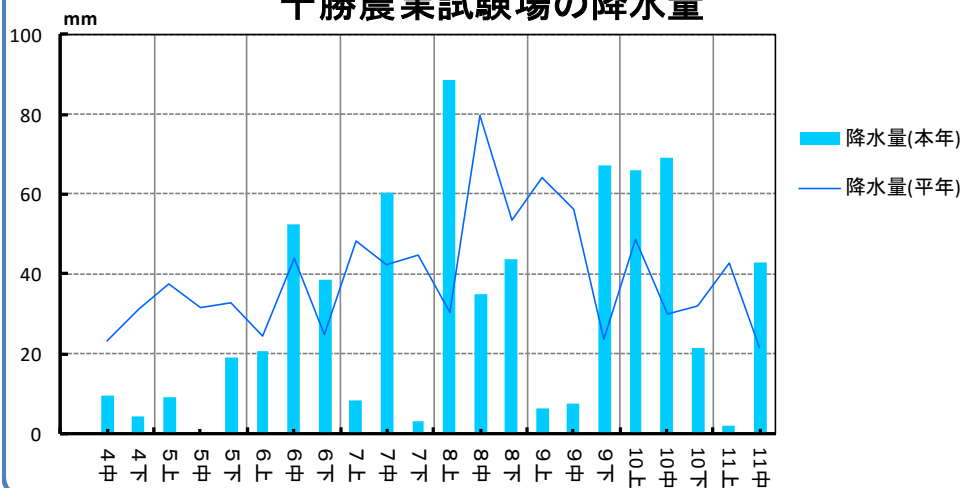
注1) 当該作況は、十勝農業試験場における各作物の生育調査結果に基づき、平年との比較から収量予測を行うものであり、十勝管内全体の作況を表現しているものではありません。

注2) 秋まき小麦10月は本年播種の作況を示します。

気象経過



十勝農業試験場の降水量



気象表

道総研(十勝農業試験場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)			地温(℃)			
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	
平成30年	9月	18.2	19.0	-0.8	22.4	23.6	-1.2	14.1	15.3	-1.2	48.0	63.2	-15.2	5.0	4.3	0.7	41.1	37.7	3.4	16.1	21.5	-5.4	
	中旬	16.3	16.9	-0.6	22.9	21.8	1.1	10.8	12.6	-1.8	0.0	57.5	-57.5	0.0	3.8	-3.8	74.0	42.8	31.2	18.8	19.8	-1.0	
	下旬	13.9	13.9	0.0	17.8	19.2	-1.4	10.4	9.0	1.4	17.5	21.9	-4.4	4.0	3.0	1.0	33.7	48.3	-14.6	17.1	17.2	-0.1	
10月	上旬	12.8	11.8	1.0	18.6	17.1	1.5	8.0	6.7	1.3	97.0	39.2	57.8	7.0	3.4	3.6	39.1	51.0	-11.9	15.4	14.8	0.6	
	中旬	9.5	9.4	0.1	15.6	15.2	0.4	4.3	4.0	0.3	6.0	29.8	-23.8	2.0	3.1	-1.1	61.0	57.0	4.0	13.1	12.0	1.1	
	下旬	8.6	7.3	1.3	14.4	12.4	2.0	3.2	2.3	0.9	43.0	29.1	13.9	4.0	2.8	1.2	57.8	56.2	1.6	10.7	9.4	1.3	
11月	上旬	7.6	5.6	2.0	12.6	10.4	2.2	2.8	1.0	1.8	24.0	40.6	-16.6	3.0	3.9	-0.9	46.3	44.4	1.9	8.8	7.3	1.5	
	中旬	4.3	2.5	1.8	9.1	7.2	1.9	-0.1	-1.8	1.7	4.0	24.4	-20.4	1.0	2.9	-1.9	61.7	49.9	11.8	6.7	4.7	2.0	
	下旬	-0.4	-0.3	-0.1	4.1	4.1	0.0	-5.2	-4.8	-0.4	4.0	13.0	-9.0	4.0	2.6	1.4	56.4	50.8	5.6	2.9	2.3	0.6	
12月	上旬	-2.9	-2.3	-0.6	2.2	2.4	-0.2	-8.4	-7.1	-1.3	22.5	30.6	-8.1	5.0	3.4	1.6	48.4	47.7	0.7	1.3	1.2	0.1	
	中旬	-5.4	-5.7	0.3	0.0	-0.3	0.3	-10.5	-11.4	0.9	3.5	13.5	-10.0	2.0	3.6	-1.6	55.6	49.4	6.2	1.0	0.7	0.3	
	下旬	-3.9	-6.0	2.1	0.2	-1.3	1.5	-8.5	-11.9	3.4	0.0	14.2	-14.2	0.0	3.5	-3.5	70.4	48.9	21.5	0.5	0.5	0.0	
平成31年	1月	上旬	-6.3	-6.9	0.6	-0.5	-1.9	1.4	-12.6	-12.5	-0.1	0.0	7.5	-7.5	0.0	2.5	-2.5	72.1	55.5	16.6	0.0	0.4	-0.4
	中旬	-6.7	-9.2	2.5	-1.8	-3.3	1.5	-12.7	-16.0	3.3	4.5	4.8	-0.3	2.0	1.3	0.7	62.9	59.4	3.5	-0.5	0.3	-0.8	
	下旬	-7.1	-8.0	0.9	-1.7	-2.4	0.7	-13.3	-14.7	1.4	10.5	7.5	3.0	5.0	3.1	1.9	65.7	64.0	1.7	-0.6	0.3	-0.9	
2月	上旬	-8.5	-8.1	-0.4	-4.1	-2.5	-1.6	-13.7	-14.4	0.7	17.0	7.0	10.0	2.0	2.1	-0.1	48.5	65.3	-16.8	-0.5	0.3	-0.8	
	中旬	-7.1	-6.6	-0.5	-0.2	-1.1	0.9	-14.4	-12.9	-1.5	0.5	8.4	-7.9	1.0	2.0	-1.0	71.6	57.5	14.1	-0.5	0.3	-0.8	
	下旬	-1.1	-6.1	5.0	3.7	-0.3	4.0	-6.5	-13.0	6.5	1.0	10.3	-9.3	1.0	2.7	-1.7	59.5	56.8	2.7	-0.3	0.3	-0.6	
3月	上旬	1.0	-3.4	4.4	6.2	1.3	4.9	-4.3	-9.0	4.7	0.0	36.3	-36.3	0.0	3.8	-3.8	73.4	61.6	11.8	-0.1	0.3	-0.4	
	中旬	1.6	-1.2	2.8	6.4	3.5	2.9	-2.1	-6.4	4.3	9.5	9.3	0.2	3.0	2.1	0.9	55.3	66.7	-11.4	-0.1	0.3	-0.4	
	下旬	0.1	0.6	-0.5	4.6	5.6	-1.0	-3.8	-4.7	0.9	5.0	11.3	-6.3	3.0	2.7	0.3	71.3	80.6	-9.3	0.1	0.9	-0.8	
4月	上旬	2.3	3.6	-1.3	7.8	9.1	-1.3	-2.5	-1.6	-0.9	17.0	21.8	-4.8	4.0	2.1	1.9	62.1	63.3	-1.2	2.6	3.7	-1.1	
	中旬	7.6	5.1	2.5	15.4	10.6	4.8	0.7	0.0	0.7	9.5	23.2	-13.7	2.0	3.6	-1.6	73.7	60.2	13.5	7.4	6.1	1.3	
	下旬	8.3	7.7	0.6	15.7	14.1	1.6	0.2	1.8	-1.6	4.5	31.2	-26.7	4.0	3.8	0.2	68.6	59.9	8.7	9.0	8.9	0.1	
令和1年	5月	上旬	11.9	10.5	1.4	18.8	16.8	2.0	3.8	4.8	-1.0	9.0	37.4	-28.4	3.0	2.8	0.2	62.2	59.6	2.6	11.4	11.3	0.1
	中旬	12.2	11.1	1.1	20.1	17.2	2.9	5.0	5.5	-0.5	0.0	31.4	-31.4	0.0	4.1	-4.1	82.0	54.6	27.4	13.0	12.7	0.3	
	下旬	17.9	13.1	4.8	24.8	19.4	5.4	10.1	7.6	2.5	19.0	32.7	-13.7	2.0	3.3	-1.3	81.7	59.8	21.9	16.1	14.7	1.4	
6月	上旬	14.9	14.4	0.5	20.0	20.7	-0.7	10.4	9.4	1.0	20.5	24.5	-4.0	3.0	3.3	-0.3	39.1	48.4	-9.3	16.6	16.6	0.0	
	中旬	14.4	14.2	0.2	19.4	18.6	0.8	10.7	10.8	-0.1	52.5	44.0	8.5	2.0	3.7	-1.7	40.1	27.4	12.7	16.5	17.3	-0.8	
	下旬	15.8	16.8	-1.0	20.4	22.3	-1.9	12.0	12.1	-0.1	38.5	24.7	13.8	2.0	3.2	-1.2	43.2	47.0	-3.8	18.1	18.8	-0.7	
7月	上旬	16.5	18.8	-2.3	21.1	23.9	-2.8	13.3	14.7	-1.4	8.5	48.3	-39.8	2.0	3.3	-1.3	29.3	42.9	-13.6	18.7	21.0	-2.3	
	中旬	16.9	19.4	-2.5	19.2	24.5	-5.3	14.9	15.1	-0.2	60.5	42.2	18.3	6.0	3.1	2.9	0.4	43.4	-43.0	18.8	21.6	-2.8	
	下旬	21.8	20.2	1.6	26.1	24.8	1.3	18.0	16.7	1.3	3.0	44.7	-41.7	3.0	4.4	-1.4	27.4	32.5	-5.1	21.4	22.4	-1.0	
8月	上旬	22.8	21.0	1.8	28.1	26.0	2.1	18.0	17.3	0.7	88.5	30.3	58.2	3.0	3.5	-0.5	64.4	38.9	25.5	23.4	23.3	0.1	
	中旬	18.9	20.1	-1.2	21.9	24.2	-2.3	16.3	16.7	-0.4	45.0	79.8	-34.8	6.0	5.0	1.0	23.4	30.7	-7.3	20.6	22.5	-1.9	
	下旬	17.8	19.6	-1.8	21.1	24.2	-3.1	15.1	15.8	-0.7	43.5	53.6	-10.1	6.0	4.4	1.6	32.3	42.1	-9.8	19.6	22.1	-2.5	
9月	上旬	20.6	18.8	1.8	26.7	23.3	3.4	15.0	15.1	-0.1	6.5	64.2	-57.7	1.0	4.5	-3.5	70.6	36.1	34.5	20.8	21.3	-0.5	
	中旬	15.8	16.8	-1.0	19.7	21.8	-2.1	11.8	12.5	-0.7	7.5	56.2	-48.7	3.0	3.6	-0.6	47.9	43.8	4.1	18.8	19.7	-0.9	
	下旬	14.3	14.1	0.2	21.0	19.1	1.9	7.9	9.4	-1.5	67.0	23.5	43.5	2.0	3.2	-1.2	73.2	45.7	27.5	16.2	17.3	-1.1	
10月	上旬	13.5	11.9	1.6	18.0	17.4	0.6	9.1	6.8	2.3	66.0	48.5	17.5	4.0	3.8	0.2	44.9	50.9	-6.0	16.2	14.9	1.3	
	中旬	8.4	9.2	-0.8	13.8	14.9	-1.1	2.5	3.9	-1.4	69.0	30.0	39.0	4.0	3.1	0.9	54.1	57.1	-3.0	11.7	12.0	-0.3	
	下旬	9.2	7.3	1.9	14.3	12.5	1.8	4.3	2.4	1.9	21.5	32	-11	4	2.9	1.1	57.3	57.3	0	11.1	9.4	1.7	
11月	上旬	4.7	5.9	-1.2	9.7	10.6	-0.9	-0.5	1.3	-1.8	2.0	42.7	-40.7	1.0	3.8	-2.8	72.8	42.7	30.1	7.8	7.5	0.3	
	中旬	2.1	2.7	-0.6	6.1	7.3	-1.2	-2.0	-1.6	-0.4	43.0	21.8	21.2	6.0	2.7	3.3	47.8	50.7	-2.9	5.1	4.9	0.2	
	下旬																						

注 3)8/28、10/27 は観測機器の不具合により十勝農試場内マメダスデータが欠測したため、アメダス芽室のデータを代用した。

平成30年

- 9月 平均気温は上中旬がやや低かった。降水量は上旬が少なく、中旬がかなり少なかった。日照時間は中旬がかなり多く、下旬が少なかった。
- 10月 平均気温は上旬、下旬が高かった。降水量は上旬がかなり多く、中旬が少なく、下旬が多かった。日照時間は上旬が少なかった。
- 11月 平均気温は上中旬が高かった。降水量は上中旬が少なく、下旬がやや少なかった。日照時間は中旬が多く、下旬がやや多かった。
- 12月 平均気温は上旬がやや低く、下旬が高かった。降水量は上旬がやや少なく、中下旬が少なかった。日照時間は中旬がやや多く、下旬がかなり多かった。

平成31年

- 1月 平均気温は上下旬がやや高く、中旬が高かった。降水量は上旬がやや少なかった。日照時間は上旬が多かった。
- 2月 平均気温は中旬がやや低く、下旬がかなり高かった。降水量は上旬が多く、中下旬はやや少なかった。日照時間は上旬が少なく、中旬が多かった。
- 3月 平均気温は上旬がかなり高く、中旬が高く、下旬がやや低かった。降水量は上旬がかなり少なく、下旬がやや少なかった。日照時間は上旬がやや多く、中下旬がやや少なかった。
- 4月 平均気温は上旬が低く、中旬が高く、下旬がやや高かった。降水量は上旬がやや少なく、中下旬が少なかった。日照時間は中旬が多く、下旬がやや多かった。

令和元年

- 5月上旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 5月中旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間はかなり多かった。
- 5月下旬 平均気温はかなり高く、降水量は少なかった。日照時間はかなり多かった。
- 6月上旬 平均気温、降水量はともに平年並で、日照時間はやや少なかった。
- 6月中旬 平均気温は平年並であった。降水量はやや多かった。日照時間はかなり多かった。
- 6月下旬 平均気温は低く、降水量は多かった。日照時間は平年並であった。
- 7月上旬 平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間はかなり少なかった。
- 7月中旬 平均気温は低く、降水量は多かった。日照時間はかなり少なかった。
- 7月下旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間はやや少なかった。
- 8月上旬 平均気温は高く、降水量はかなり多かった。日照時間はかなり多かった。
- 8月中旬 平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間は少なかった。
- 8月下旬 平均気温は低く、降水量はやや少なかった。日照時間は少なかった。
- 9月上旬 平均気温は高く、降水量はかなり少なかった。日照時間はかなり多かった。
- 9月中旬 平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 9月下旬 平均気温は平年並で、降水量は多かった。日照時間はかなり多かった。
- 10月上旬 平均気温は高く、降水量は多かった。日照時間はやや少なかった。
- 10月中旬 平均気温はやや低く、降水量は多かった。日照時間は平年並であった。
- 10月下旬 平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。
- 11月上旬 平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間はかなり多かった。
- 11月中旬 平均気温はやや低く、降水量は多かった。日照時間は平年並みであった。

本年の農耕期間（5月上旬から9月下旬）の気象経過

平均気温は、平年に比べて、5月、7月下旬～8月上旬、および9月上旬が高かった。一方、6月下旬～7月中旬、8月中下旬は低く経過した。その他は概ね平年並に経過した。よって、この期間の平均気温の積算値は平年より39℃高い2,581℃となり、平年比102%であった。

日照時間は、平年に比べて、5月、6月中旬、8月上旬および9月が多かった。一方、7月、8月中下旬および9月下旬は少なかった。その他は概ね平年並に経過した。よって、この期間の日照時間の積算値は平年より62時間多い717時間となり、平年比109%であった。

降水量は、平年に比べて、6月中下旬、7月中旬、8月上旬および9月下旬で多く、5月～6月上旬および8月中旬～9月中旬で少なかった。よって、この期間の降水量の積算値は平年より183mm少ない460mmとなり、平年比72%であった。

以上から、本年の農耕期間（5月上旬から9月下旬）の気象は、5月の高温・多照・少雨、6月中旬の低温寡照、7月上中旬の低温・寡照、8月上旬の高温・多照、8月中下旬の低温・寡照および9月上旬高温・多照が特徴的であった。積算の平均気温および日照時間は概ね平年並で、降水量は少なかった。

農耕期間の積算値 道総研(十勝農業試験場)

項目		平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (hr)	降水量 (mm)	降水日数 (日)	地温 (°C)
4月中旬 ～ 11月上旬	本年	3,106	4,239	2,032	1,089	632	63	(3,367)
	10年平均	3,022	4,149	2,039	984	854	76	3,483
比較		84	90	-7	105	-222	-13	(-116)
5月上旬 ～ 9月下旬	本年	2,581	3,355	1,865	717	460	44	(2,735)
	10年平均	2,542	3,335	1,875	655	643	55	2,886
比較		39	20	-10	62	-183	-11	(-151)

注4)8/28、10/27のデータについては注釈3に準じる。本年の地温積算値は、2日分のデータが欠測した参考値である。

季節調査について

平成30年の根雪始は平年より4日遅く、平成31年の根雪終は平年より19日早かったことから、積雪期間は平年より26日短い99日間であった。晩霜は平年より6日遅く、初霜は平年より4日遅かったことから、無霜期間は平年より1日短い155日間であった。降雪始は、平年より10日遅い11月14日であった。

季節表(十勝農業試験場)

年次	初霜 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年.月.日)
本年	H30.10.19	H30.12.7	H31.3.16	99	H31.4.27	H31.4.16	R1.5.12	R1.10.14	155	R1.11.14
平年	10.10	12.3	4.4	125	4.22	4.15	5.6	10.10	156	11.4
比較	9	4	△19	△26	5	1	6	4	△1	10

*各季節表項目は、令和元年11月20日現在の十勝農試での観測による。

令和元年度 十勝農試定期作況報告 秋まき小麦

月	作況	事由
10月20日	良	播種期、出芽期はともに平年より2日早かった。草丈は平年より長く、葉数、茎数はともに多かった。以上のことから、現在の作況は良である。
5月20日	良	積雪期間は平年より26日短く、雪腐病の発生はわずかであった。しかし少雪時の低温により葉先が枯れる被害が発生し、起生期の茎数は平年より少なかった。起生期以降の天候は概ね順調に推移したため生育は旺盛となり、草丈は平年より高く、茎数は平年より多かった。以上のことから、現在の作況は良である。
6月20日	やや良	5月下旬は高温、少雨で干ばつとなり、生育期節は早まったが、生育量は抑制された。草丈は平年よりかなり短く、茎数は平年よりかなり多かった。以上のことから、現在の作況はやや良である。
7月20日	やや良	7月上・中旬は低温・寡照となり、登熟は緩慢となった。稈長はかなり短く、穂長は平年並で、穂数はかなり多かった。以上のことから、現在の作況はやや良である。
8月20日	やや良	成熟期は7月24日で平年並であった。子実重は平年比105%でやや多収となり、リットル重、2.2mm篩上率、および千粒重は平年を上回った。以上のことから、現在の作況はやや良である。
11月20日	やや良	播種期、出芽期はともに平年より2日早く、越冬前の生育は旺盛となった。雪腐病の発生は少なかったが、少雪時の葉先枯れにより起生期の茎数は平年より少なかった。以降の生育は良好であったが、5月下旬の干ばつにより生育は抑制され、茎数は多く、草丈は短くなった。出穂期は平年より6日早い5月30日であった。7月上中旬は低温・寡照となり、登熟は緩慢となったため、成熟期は平年並の7月24日であった。稈長は平年より短く、穂長は平年並、穂数は平年より多かった。リットル重、千粒重は平年より重く、2.2mm篩上率は高く、子実重は平年比105%で、検査等級は平年に優る1等であった。以上のことから、本年の作況はやや良である。

生育データ

品種名	きたほなみ			
	本年	平年	比較	
項目/年次	本年	平年	比較	
播種期(月日)	9.20	9.22	△ 2	
出芽期(月日)	9.27	9.29	△ 2	
起生期(月日)*	3.26	4.9	△ 14	
出穂期(月日)	5.30	6.5	△ 6	
成熟期(月日)	7.24	7.24	0	
葉数(枚)	10月20日	4.1	3.3	0.8
	11月15日*	6.3	5.3	1.0
草丈(cm)	10月20日	23.6	19.3	4.3
	5月20日	50.5	46.5	4.0
	6月20日	75.7	91.6	△ 15.9
茎数(本/m ²)	10月20日	779	459	320
	11月15日*	1,513	1381	132
	起生期*	1,648	1800	△ 152
	5月20日	1,575	1,149	426
成熟期	6月20日	856	644	212
	稈長(cm)	70	83	△ 13
	穂長(cm)	8.8	8.6	0.2
	穂数(本/m ²)	825	639	186
子実重(kg/10a)	732	703	29	
同上対平年比(%)	105	100	5	
リットル重(g)	857	825	32	
2.2mm篩上率(%)	98.8	92.7	6.1	
千粒重(g)	43.6	40.1	3.5	
検査等級	1	2上	-	

備考1) 平年値は、前7か年中、平成29年収穫(豊作)、28年収穫(凶作)を除く5年平均。年次は収穫年。

備考2) △は平年より早、少、短を表す。

耕種概要

一区面積(m ²)	区制	前作物	畦幅(cm)	播種日(月日)	播種量(粒/m ²)
9.6	4	緑肥クローバー	30	9.20	255

肥料名	施用量(kg/10a)	要素量(kg/10a)				備考
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
S502	80	4	16	9.6	4	基肥
硫安	38	8				追肥(4/1)
硫安	19	4				追肥(5/30)

令和元年度 十勝農試 定期作況報告 大豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	播種期は平年より1日遅い5月22日であった。5月9日～5月28日の合計降水量が1mmで、かつ高温であったことから、圃場は干ばつ気味に経過し、出芽がばらついた。出芽期は平年より5日遅い6月5日となり、出芽率は平年を下回った。出芽後は6月中旬の低温により生育が停滞したため、主茎長は平年より短く、主茎節数は平年をやや下回っている。 以上のことから現在の作況はやや不良である。
7月20日	不良	6月下旬以降、低温・寡照が続いたため、生育は停滞した。開花始は平年より5日遅い7月20日となった。主茎長、主茎節数、分枝数はいずれも平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況は不良である。
8月20日	平年並	7月下旬から8月上旬にかけて高温に経過し、8月上旬は日照時間も多かったことから、生育は回復した。しかし、8月中旬は低温寡照となり、生育や粒肥大が再び停滞している。主茎長、主茎節数は平年をやや下回り、分枝数は平年より少ないが、着莢数はほぼ平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
9月20日	平年並	8月下旬は低温に経過したが、9月上旬は高温となり日照時間も多かったことから、登熟は順調に進んだ。主茎長、主茎節数は平年をやや下回り、分枝数は平年より少ないが、着莢数は平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	やや不良	成熟期は平年より1日遅かった。主茎長、主茎節数は平年をやや下回り、分枝数は平年より少なかった。着莢数、一莢内粒数は平年並であったが、百粒重が平年を下回ったため、子実重は平年対比95%であった。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
11月20日	やや不良	播種期は平年より1日遅かった。5月9日～5月28日の合計降水量が1mmで、かつ高温であったことから、圃場は干ばつ気味に経過し、出芽がばらついた。出芽期は平年より5日遅い6月5日となり、出芽率は平年を下回った。6月中旬以降、低温・寡照が続いたため、生育は停滞した。開花始は平年より5日遅い7月20日となり、主茎長、主茎節数、分枝数は平年を下回った。7月下旬から8月上旬は好天となったことから生育はやや回復した。9月上旬は高温多照となったが生育前半の停滞を取り戻すには至らず、成熟期は平年より1日遅く、主茎長、主茎節数は平年をやや下回り、分枝数は平年より少なかった。着莢数、一莢内粒数は平年並であったが、百粒重が平年を下回ったため、子実重は平年対比95%であった。検査等級は1等となり平年より優れた。 以上のことから、本年の作況はやや不良である。

生育データ

品種名		ユキホマレ		
項目/年次	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.22	5.21	1	
出芽期(月日)	6.5	5.31	5	
出芽率(%) ³⁾	81.2	93.9	△12.7	
開花始(月日)	7.20	7.15	5	
成熟期(月日)	9.25	9.24	1	
主茎長 (cm)	6月20日	7.4	11.6	△4.2
	7月20日	46.0	62.1	△16.1
	8月20日	71.4	75.7	△4.3
	9月20日	69.4	76.1	△6.7
	成熟期	69.4	75.1	△5.7
主茎節数 (節)	6月20日	2.2	2.9	△0.7
	7月20日	8.9	10.4	△1.5
	8月20日	10.7	11.1	△0.4
	9月20日	10.3	11.2	△0.9
	成熟期	10.3	11.0	△0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	3.2	5.1	△1.9
	8月20日	4.4	5.7	△1.3
	9月20日	4.0	5.4	△1.4
	成熟期	4.0	5.2	△1.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	75.9	73.1	2.8
	9月20日	68.4	69.2	△0.8
	成熟期	68.4	68.6	△0.2
一莢内粒数(粒)	1.80	1.81	△0.01	
子実重(kg/10a) ⁴⁾	358	375	△17	
百粒重(g) ⁴⁾	34.7	38.5	△3.8	
屑粒率(%)	2.5	1.7	0.8	
品質(検査等級) ⁵⁾	1	2中		
子実重対平年比(%)	95	100	△5	

備考1) 平年値は、前7か年中、平成26年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。

- 2) △は、平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
- 3) 間引き直前に調査した値。
- 4) 水分含量15%に換算した値。
- 5) 農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

耕種概要

一区面積(m ²)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)	種子処理
16.8	3	緑肥えん麦	60	20	2	8,333	5.22	クルーザーMAXX
施肥量(kg/10a)								
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他			

令和元年度 十勝農試定期作況報告 小豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	播種期は平年より4日遅い5月28日であった。播種翌日に降雨があったことから出芽は順調で、播種後出芽までの日数は平年より2日早かった。播種期が平年より遅かったことから、主茎長及び本葉数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	やや不良	6月下旬からの低温に加え、7月上旬以降はかなり日照が少なかったことから生育がやや遅れ、主茎長、本葉数、及び分枝数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	やや不良	開花始は平年より5～7日遅かった。開花始から8月上旬にかけて高温多照に経過したことから生育旺盛となり、主茎長は平年を下回っているものの、本葉数は平年並に回復している。また、高温による落花が見られ、かつ開花が遅れたことから現時点での着莢数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	やや不良	開花・着莢の遅れにより、成熟期は平年より遅れている。主茎長は平年を下回っているものの、主茎節数は平年を上回っている。着莢数は前回より増加し、平年比90～94%である。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
10月20日	やや良	成熟期は平年より11～13日遅かった。着莢数は平年よりやや少なく、一英内粒数は「きたろまん」で平年よりやや少ないが「エリモショウズ」で平年並、百粒重は平年を2割程度上回ったことから、子実重の平年比は「きたろまん」で103%、「エリモショウズ」で115%であった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
11月20日	やや良	播種期は平年より4日遅かったが、播種翌日の降雨により出芽は順調であった。6月下旬から7月中旬まで低温寡照に経過したことから、初期生育は平年より劣り、開花始は平年より5～7日遅かった。その後、8月上旬にかけて高温多照に経過したことから生育旺盛となったが、高温障害による落花が見られた。開花・着莢の遅れにより、成熟期は平年より11～13日遅かった。一英内粒数は平年並からやや少なく、百粒重は平年を2割程度上回ったことから、子実重の平年比は「きたろまん」で103%、「エリモショウズ」で115%であった。屑粒率は平年よりやや少なかったが、粒揃いが悪く検査等級はやや劣った。 以上のことから、本年の作況はやや良である。

生育データ

項目/年次	品種名	きたろまん			エリモショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.28	5.24	4	5.28	5.24	4	
出芽期(月日)	6.9	6.7	2	6.9	6.7	2	
開花始(月日)	7.29	7.22	7	7.28	7.23	5	
成熟期(月日)	9.25	9.14	11	9.28	9.15	13	
主茎長 (cm)	6月20日	3.7	4.3	△ 0.6	4.0	4.8	△ 0.8
	7月20日	13.1	24.4	△ 11.3	15.2	25.5	△ 10.3
	8月20日	55.7	77.3	△ 21.6	60.4	79.2	△ 18.8
	9月20日	65.6	86.4	△ 20.8	69.2	85.6	△ 16.4
	成熟期	65.2	86.8	△ 21.6	70.3	85.6	△ 15.3
本葉数 (枚)	6月20日	0.4	0.8	△ 0.4	0.5	0.9	△ 0.4
	7月20日	5.3	7.5	△ 2.2	5.7	7.9	△ 2.2
	8月20日	12.7	13.0	△ 0.3	13.9	14.1	△ 0.2
主茎節数 (節)	9月20日	15.6	14.3	1.3	17.0	15.0	2.0
	成熟期	15.5	14.3	1.2	16.2	15.0	1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	2.6	3.9	△ 1.3	2.4	3.7	△ 1.3
	8月20日	3.4	4.1	△ 0.7	5.0	4.4	0.6
	9月20日	3.3	3.6	△ 0.3	3.6	3.6	0.0
	成熟期	2.9	3.6	△ 0.7	3.6	3.6	0.0
着莢数 (英/株)	8月20日	39.5	66.3	△ 26.8	43.4	70.1	△ 26.7
	9月20日	50.8	54.2	△ 3.4	53.4	59.3	△ 5.9
	成熟期	50.9	54.0	△ 3.1	54.9	59.3	△ 4.4
一英内粒数(粒)	5.66	6.10	△ 0.44	6.01	6.03	△ 0.02	
総重(kg/10a)	619	636	△ 17	736	652	84	
子実重(kg/10a)	396	384	12	410	358	52	
百粒重(g)	17.9	15.3	2.6	16.2	13.4	2.8	
屑粒率(%)	2.4	3.4	△ 1.0	2.8	3.5	△ 0.7	
品質(検査等級)	3下	3上	-	4中	3上	-	
子実重対平年比(%)	103	100	3	115	100	15	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成27年(豊作年)及び30年(凶作年)を除く5年平均である。
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 3) 着莢数は、8月20日現在は莢長3cm以上、9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。
 4) 品質(検査等級)は旧農産物規格規定(一般小豆の規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12.0	3	アカローハ	60	20	2	8,333	5.28
施肥量(kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		

令和元年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	播種期は平年より2日遅い5月30日であった。出芽期は概ね平年並であった。その後の生育は順調で、草丈及び葉数は平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	6月下旬からの低温に加え、7月上旬以降は日照が少なかつたため、金時類の開花始は平年より3~4日遅かつた。草丈および葉数は平年並で、分枝数は平年に比べ手亡類はやや下回っているが、金時類はやや上回っている。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや良	手亡類の開花始は平年より4日遅かつた。手亡類は、草丈、葉数および分枝数は平年並であるが、7月6半旬から8月1半旬がかなり高温となり、着莢数は平年をやや下回っている。金時類は、葉数は平年並で、草丈、分枝数および着莢数は平年をやや上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	良	成熟期は平年より3~5日遅かつた。手亡類では、平年と比べ着莢数はやや下回つたが、百粒重は平年並で、一莢内粒数は上回つたことから、子実重はやや上回つた。成熟期頃の降雨が少なく、屑粒率は平年よりも低かつた。金時類では、平年と比べ百粒重はやや下回つたが、着莢数および一莢内粒数は平年並から上回つたことから、子実重は上回つた。「大正金時」は倒伏が多発生しており、8月下旬の降雨により色流れ粒が発生し、屑粒率は平年よりもやや高かつたが、成熟期が遅い「福勝」は平年よりも低かつた。 以上のことから、現在の作況は良である。
11月20日	やや良	播種は平年より2日遅いが、出芽期は概ね平年並であった。6月下旬からの低温に加え、7月の日照の少なさから、開花始は3~4日遅れた。8月以降は、時期による気温の高低があり、成熟期は3~5日遅れた。 手亡類は、平年と比べ着莢数はやや下回つたが、一莢内粒数は上回り、子実重はやや上回つた。成熟期頃の降雨が少なく、平年と比べ屑粒率は低く、検査等級はやや上回つた。金時類では、平年と比べ百粒重はやや下回つたが、着莢数および一莢内粒数は平年並から上回つたことから、子実重は上回つた。「大正金時」は倒伏に加えて、成熟期前の降雨により色流れ粒が発生しており、屑粒率は平年よりもやや高く、屑粒とはならない程度の色流れおよび偏平粒が多く発生したため、検査等級は平年を下回つた。成熟期が遅い「福勝」は、屑粒率は平年よりも低かつたが、「大正金時」と同様の偏平粒が多く発生したため、検査等級は平年をやや下回つた。 以上のことから、今年の作況はやや良である。

生育データ

品種名	雷 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.30	5.28	2	5.30	5.28	2	5.30	5.28	2	
出芽期(月日)	6.8	6.7	1	6.9	6.9	0	6.10	6.10	0	
開花始(月日)	7.22	7.18	4	7.15	7.11	4	7.15	7.12	3	
成熟期(月日)	9.17	9.14	3	9.3	8.30	4	9.9	9.4	5	
草丈 (cm)	6月20日	6.9	7.2	△ 0.3	9.9	10.4	△ 0.5	9.1	9.9	△ 0.8
	7月20日	52.0	54.3	△ 2.3	49.7	49.1	0.6	50.0	49.0	1.0
	8月20日	67.7	67.8	△ 0.1	56.7	51.7	5.0	61.7	55.8	5.9
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	62.0	64.8	△ 2.8	50.7	51.2	△ 0.5	55.7	53.6	2.1
葉数 (枚)	6月20日	0.8	1.0	△ 0.2	0.8	0.7	0.1	0.9	0.9	0.0
	7月20日	6.9	6.5	0.4	4.0	3.8	0.2	3.9	3.9	0.0
	8月20日	6.9	7.3	△ 0.4	4.0	3.8	0.2	3.9	4.0	△ 0.1
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主莖節数 (節)	成熟期	8.8	8.8	0.0	6.0	5.8	0.2	5.9	5.9	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	6.5	7.5	△ 1.0	7.6	6.7	0.9	7.0	6.2	0.8
	8月20日	8.7	8.7	0.0	7.8	6.4	1.4	7.6	6.1	1.5
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	6.9	7.5	△ 0.6	6.7	5.9	0.8	6.5	5.3	1.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	30.2	34.6	△ 4.4	20.1	17.3	2.8	19.2	17.3	1.9
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	26.1	30.0	△ 3.9	19.7	16.7	3.0	16.2	15.8	0.4
一莢内粒数(粒)	4.61	4.21	0.40	3.09	2.73	0.36	2.70	2.59	0.11	
総重(kg/10a)	668	667	1	513	495	18	539	547	△ 8	
子実重(kg/10a)	373	351	22	280	241	39	292	269	23	
百粒重(g)	33.5	34.9	△ 1.4	60.5	65.7	△ 5.2	79.2	82.0	△ 2.8	
屑粒率(%)	3.7	15.4	△ 11.7	22.6	15.8	6.8	8.4	20.2	△ 11.8	
品質(検査等級)	2下	3上		4中	3上		3中	3上		
子実重対平年比(%)	106	100	6	116	100	16	109	100	9	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成24年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。
ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。
2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。
4) 品質(検査等級)は、旧農産物規格規定(普通いんげんの規格その1(素俵))に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株 本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	春播き 小麦	60	20	2	8,333	5.30
施肥量(kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		

令和元年度 十勝農試 定期作況報告 ばれいしよ

月	作況	事由
6月20日	やや良	植付期は平年より1日遅い5月10日であった。植え付け後は気温が高く、萌芽期は平年より5～6日早かった。萌芽後も気温が高く、6月上・中旬はやや低温寡照であったが生育は順調であった。茎長は「男爵薯」「トヨシロ」が平年を上回り、「コナフキ」は平年並であった。茎数は「男爵薯」が平年並、「トヨシロ」「コナフキ」は平年をやや下回った。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
7月20日	やや良	開花始は平年より2～3日早く、茎長および茎数は平年並～下回っていた。一方、上いも重は「男爵薯」が平年比102%、「トヨシロ」は136%、「コナフキ」は112%であり、平年並～上回っていた。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
8月20日	やや良	茎長は「トヨシロ」が平年並み、「男爵薯」「コナフキ」は平年を下回っていた。上いも重は各品種とも平年を10%以上上回り、特に「コナフキ」は平年比123%であった。一方、でん粉価はいずれも平年を下回っていた。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	やや良	枯凋期は平年より3～5日早かった。上いも数は「男爵薯」が平年よりやや多く、他の2品種は平年より少なかった。一方、上いも1個重は「男爵薯」が平年をやや下回り、他の2品種は平年を上回った。「男爵薯」「トヨシロ」は腐敗塊茎が非常に多く、両品種は8月20日時点より減収し、上いも重の平年比は「男爵薯」で104%、「トヨシロ」で101%であった。一方、「コナフキ」は腐敗が少なく、上いも重は平年比112%であった。でん粉価はいずれも平年を下回ったが、でん粉重が重視される「コナフキ」で平年比108%が得られた。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
11月20日	やや良	植付期は平年より1日遅い5月10日であった。植え付け後は気温が高く、萌芽期は平年より5～6日早かった。萌芽後も気温が高く、6月上・中旬はやや低温寡照であったが生育は順調であった。開花始は平年より2～3日早く、茎長および茎数は平年並～下回っていた。枯凋期は平年より3～5日早かった。上いも数は「男爵薯」が平年よりやや多く、他の2品種は平年より少なかった。一方、上いも1個重は「男爵薯」が平年をやや下回り、他の2品種は平年を上回った。「男爵薯」「トヨシロ」は腐敗が非常に多く、上いも重の平年比は「男爵薯」で104%、「トヨシロ」で101%であった。一方、「コナフキ」は腐敗が少なく、上いも重は平年比112%であった。でん粉価はいずれも平年を下回ったが、「コナフキ」のでん粉重は平年比108%が得られた。 以上のことから、今年の作況はやや良である。

生育データ

品種名	男爵薯			トヨシロ			コナフキ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次										
植付期(月日)	5.10	5.9	1	5.10	5.9	1	5.10	5.9	1	
萌芽期(月日)	5.23	5.28	△5	5.24	5.30	△6	5.23	5.28	△5	
開花始(月日)	6.25	6.28	△3	6.28	6.30	△2	6.25	6.28	△3	
枯凋期(月日)	8.23	8.27	△4	8.30	9.2	△3	9.14	9.19	△5	
茎長 (cm)	6月20日	24.7	22.0	2.7	25.4	18.0	7.4	28.1	29.2	△1.1
	7月20日	42.6	48.6	△6.0	61.7	61.3	0.4	68.9	73.0	△4.1
	8月20日	43.0	49.7	△6.7	63.5	63.2	0.3	73.0	78.4	△5.4
茎数 (本/株)	6月20日	3.9	3.9	0.0	2.7	3.0	△0.3	3.3	3.7	△0.4
	7月20日	3.9	4.2	△0.3	3.1	3.0	0.1	3.5	4.4	△0.9
7月20日	上いも重(kg/10a)	2,522	2,464	58	3,437	2,522	915	2,288	2,048	240
8月20日	上いも重(kg/10a)	4,575	4,061	514	4,877	4,259	618	4,654	3,790	864
	同上平年比(%)	113	100	13	115	100	15	123	100	23
	でん粉価(%)	14.4	15.9	△1.5	16.4	16.7	△0.3	21.4	21.8	△0.4
収穫期	上いも数(個/株)	12.2	11.4	0.8	9.1	10.2	△1.1	10.5	11.9	△1.4
	上いも一個重(g)	78	81	△3	106	95	11	104	83	21
	上いも重(kg/10a)	4,228	4,080	148	4,335	4,300	35	4,831	4,304	527
	中以上いも重(kg/10a)	3,330	3,492	△162	3,927	3,801	126	—	—	—
	でん粉価(%)	13.9	15.5	△1.6	15.6	16.1	△0.5	20.8	21.5	△0.7
	でん粉重(kg/10a)	544	593	△49	633	658	△25	957	884	73
平年比 (%)	上いも重	104	100	4	101	100	1	112	100	12
	でん粉重	92	100	△8	96	100	△4	108	100	8

備考) 1)平年値は、前7か年中、27年(凶作年)及び平成29年(豊作年)を除く5か年平均である。
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	株数 (株/10a)	植付日 (月日)
54	3	えん麦野生種	75	30	4,444	5.10
施肥量 (kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
8	20	14	5	なし	なし	

令和元年度十勝農試定期作況報告 てんさい

月	作況	事由
5月20日	やや良	移植期は平年並の4月26日であった。活着は順調で枯死個体は無く、補植は実施しなかった。草丈は平年より長く、葉数は平年よりやや多かった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
6月20日	平年並	5月下旬は多照となったが、6月上旬は寡照、6月中旬は低温となり生育は緩慢となった。草丈は平年より長かったが、葉数は平年よりやや少なかった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	やや良	6月下旬から7月上旬は低温・寡照となったため、草丈は平年より長かったが、葉数は少なかった。根重は平年比109%で重かった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
8月20日	やや良	草丈は平年より長く、葉数は少なかった。根重は平年比107%で重かった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	平年並	草丈は平年より長く、葉数は少なかった。根重は平年比101%で並であった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	やや不良	草丈は平年より長く、葉数は平年並であった。茎葉重は平年比120%と重く、根重は同比95%で軽かった。根中糖分は平年比99%と並で、糖量は同比95%でやや低収となった。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
11月20日	やや不良	移植期は平年並みの4月26日で、活着は順調であった。5月中下旬は高温干ばつとなり、草丈は平年より長かったが葉数は少なくなった。以降の生育は概ね順調であったが、9月下旬から10月上旬にかけて降水量が多く、根重の増加が緩慢となった。収穫時の根中糖分は平年比99%、茎葉重は同比120%、根重は同比95%、糖量は同比95%でやや低収となった。 以上のことから、本年の作況は良である。

生育データ

品種名		リッカ		
項目/年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		3.15	3.17	△ 2
発芽期(月日)		3.25	3.25	0
移植期(月日)		4.26	4.26	0
収穫期(月日)		10.15	10.19	△ 4
草丈 (cm)	5月20日	9.6	6.4	3.2
	6月20日	53.0	40.3	12.7
	7月20日	73.8	61.1	12.7
	8月20日	80.3	65.6	14.7
	9月20日	72.4	67.3	5.1
生葉数 (枚)	5月20日	7.0	5.5	1.5
	6月20日	13.8	15.3	△ 1.5
	7月20日	19.3	21.8	△ 2.5
	8月20日	22.0	24.0	△ 2.0
	9月20日	26.9	28.7	△ 1.8
根重 (kg/10a)	7月20日	2,746	2,507	239
	8月20日	5,842	5,421	421
	9月20日	7,209	7,137	72
	10月20日	7,361	7,715	△ 354
茎葉重 (kg/10a)		5,561	4,639	922
根重 (kg/10a)		7,361	7,715	△ 354
根中糖分 (%)		16.29	16.31	△ 0.02
糖量 (kg/10a)		1,199	1,256	△ 57
T/R 比		0.76	0.60	0
平年比 (%)	茎葉重	120	100	20
	根重	95	100	△ 5
	根中糖分	100	100	0
	糖量	95	100	△ 5

備考) 1)平年値は、前7か年中、平成29年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅	株間	株数
			(cm)	(cm)	(株/10a)
57.6	3	緑肥 トウモロコシ	60	23.8	7,003

施肥量 (kg/10a)						
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	B ₂ O ₅	堆肥	その他
15	21.3	13.8	5.0	0.38	3000	なし